

令和元年度 第2回社会教育委員会議

日時 令和元年12月19日(木)

午後3:30～

場所 本埜公民館 2階 団体研修室

次 第

1 開 会

2 議長あいさつ

3 会議録署名委員の指名について

4 報告事項

(1) 令和元年度印旛郡市社会教育振興大会について

(2) 第54回千葉県社会教育振興大会について

(3) 令和元年度第24回印西市民文化祭について

5 議 事

(1) 令和2年度生涯学習関連予算について

(2) その他

6 その他

7 閉 会

報告事項 (1) 令和元年度印旛郡市社会教育振興大会について

1 日 時 令和元年8月17日(土) 13時30分から16時20分まで

2 会 場 印西市文化ホール 大ホール

3 来 賓 印西市長(祝辞)・印西市教育委員会教育長(祝辞)

4 協 賛(順不同)

- ・印旛地区公民館連絡協議会
- ・印旛地区青少年相談員連絡協議会
- ・印旛郡市子ども会育成連合会
- ・成田市スポーツ協会
- ・八千代・印西地区スポーツ推進委員連絡協議会
- ・印旛郡市社会教育主管課長会
- ・印旛郡市PTA連絡協議会
- ・印旛郡市体育協会
- ・東印旛地区スポーツ推進委員連合会

5 参加者

合計330人(主催者、表彰者、社会教育委員、事務局職員、一般参加者を含む)

(内訳)

来 賓	4人	協賛団体	5人	表彰者	18人
佐 倉 市	33人	成 田 市	35人	四街道市	35人
印 西 市	140人	白 井 市	10人	富 里 市	13人
酒々井町	6人	栄 町	10人	八 街 市	21人

6 日程報告

予定	実績	
10:30	10:30	登壇役員等集合・リハーサル・各市町事務局受付業務確認
11:00	11:00	印社連集合・会場確認・打合せ
11:20	11:20	昼食
12:45	12:45	受付開始
13:00	13:00	被表彰者リハーサル
13:30	13:30	開会のことば
13:32	13:32	主催者あいさつ(会長)
13:40	13:40	社会教育功労者表彰
13:55	13:55	来賓祝辞(印西市長・印西市教育委員会教育長)
14:00	14:00	協賛団体紹介〔～14:00〕(休憩・設営等)
14:15	14:15	記念講演〔～15:30〕 「小さい頃にかっこが速いとオリンピックへ行けるのか？」 講 師 順天堂大学スポーツ健康科学部教授 同大学陸上競技部監督 山崎 一彦 氏
15:43	15:43	印西市PR動画・事例提案〔～16:00〕 「白井初のクラウドファンディングにプラネタリウムで挑戦」 提案者 白井市文化センタープラネタリウム館 主査補 岬下 すみれ 氏
16:05	16:05	大会宣言提案・採択
16:10	16:10	閉会のことば
	16:20	閉会
16:25	16:25	大会解散式〔～16:40〕

事業費決算書

印旛郡市社会教育委員連絡協議会から 500,000円

節	細節	予算額	支出済み額	説明
報償費	報償費	152,000円	151,000円	○講師謝礼(交通費込) 150,000円 ○事例提案者謝礼 1,000円 (図書カード @1,000 × 1名)
需用費	消耗品費	70,000円	54,581円	○記念品等/19名分 19,000円 ○(記念品・丸筒・紙) 16,632円 ○事務用品一式(コピー用紙他) 8,949円 ○演台花(生花) 10,000円
	食糧費	21,000円	17,112円	○昼食代(@600 × 24個) 14,400円 (印社連 9名・印西市社会教育委員 13名) (講師 1名・事例提案者 1名) ○講師等接待用茶菓 1,032円 ○飲み物代(役員・来賓用) 1,680円
	印刷製本費	180,000円	141,696円	○大会冊子・封筒/ 400部 141,696円
役務費	通信費	1,000円	738円	○切手代 738円 (協賛団体依頼時9団体)
	手数料	2,000円	432円	○振込手数料 432円 (手話・要約筆記)
使用料及び賃借料	使用料	0円	0円	○会場使用料 0円
委託料	委託料	70,500円	93,963円	○手話通訳 26,840円 @3,000 × 4h × 2名 + 交通費 ○要約筆記通訳 56,840円 @3,000 × 4h × 4名 + 交通費 ○要約筆記備品・郵送代 10,283円 ○表彰状筆耕委託 0円
予備費		3,500円	0円	
合 計		500,000円	459,522円	

残 金	40,478円	会計 成田市への返金額
-----	---------	-------------

報告事項 (2) 第 5 4 回千葉県社会教育振興大会について

1 趣 旨

人生 100 年時代を迎えようとしている我が国は、超スマート社会 (Society5.0) の実現に向けて、人工知能 (AI) やビッグデータの活用などの技術革新が急速に進展する一方、少子高齢化や人口減少、地域コミュニティの衰退、貧困と格差、子どもの虐待など、様々な課題に直面しています。

そのような社会変革の中、昨年 12 月の中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」において提言されたとおり、これからの地域社会を持続可能なものにするとともに、人生 100 年時代における個人の充実した人生を実現するためには、社会教育の視点から地域が抱える課題解決を図る方策として、学びと活動の好循環の下、「社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくり」の重要性が一層高まっています。

さらに、新たな社会教育の方向性として、SDGs (「持続可能な開発目標」) の理念を踏まえ、誰一人として取り残さない社会づくりを目指し、より幅広い地域住民の参画と、社会教育委員をはじめ、NPO や大学、企業等、多様な主体との連携・協働が期待されるなど、「開かれ、つながる社会教育」の実現が求められています。

そこで、社会教育委員をはじめ社会教育関係者が一堂に会し、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」をテーマに、社会教育の振興と生涯学習の推進に向けて研究を深めるとともに、より一層の進展を目的として本大会を開催します。

2 テーマ 「人づくり・つながりづくり・地域づくり」

3 期 日 令和元年 11 月 28 日 (木)

4 会 場 千葉県総合教育センター メディア教育棟 1 階 大ホール
(所在地) 千葉市美浜区若葉 2-13

5 主 催 千葉県社会教育委員連絡協議会

6 参加者 社会教育委員, 社会教育指導員, 家庭教育指導員, 社会教育関係団体
社会教育関係職員, 社会教育・生涯学習に関心のある方

7 日 程 受付 9:30~10:00

(1) 開会行事 10:00~10:40

ア 開会の言葉

イ 主催者挨拶

ウ 千葉県社会教育委員連絡協議会表彰

エ 被表彰者代表挨拶

オ 来賓祝辞

カ 祝電披露

(2) 基調講演 10:40～11:50 (謝辞含む)

※千葉県教育委員会主催社会教育専門講座「生涯学習実践研修会」

演 題 「これからの社会教育のかたち

～開かれ、つながる社会教育をめざして～」

講 師 全国社会教育委員連合 常務理事 馬場 祐次郎 氏

～ 昼食・休憩 ～

(3) 事例発表及び分科会 13:00～15:15

ア 第1分科会 『地域づくりと社会教育』

事例発表：香取地区

(発表者 神崎町社会教育委員 千葉 貴美子 氏
神崎町教育委員会 課長補佐 本宮 賢 氏)

イ 第2分科会 『防災教育と社会教育』

事例発表：東総地区

(発表者 旭市社会教育委員会 議長 花香 寛源 氏)

ウ 第3分科会 『子育て支援と社会教育』

事例発表：山武地区

(発表者 大網白里市子ども会育成連絡協議会
会長 八角 榮子 氏)

(4) 閉会行事

15:30～16:00

ア 分科会報告

イ 決議文採択

ウ 閉会の言葉

8 参加費 1人 3,000円

9 その他

(1) 各市町村とも多くの参加(例年、表彰者を除く7～10名)をお願いします。

(2) 駐車場については、他の研修等の状況により当日混雑すること考えられますので、時間に余裕をもってお越しください。

報告事項 (3) 令和元年度・第24回印西市民文化祭実績について

1. 期間

令和元年10月27日(日)～11月30日(土)

2. 来場者・参加者数

【発表部門】文化ホール

部門	日程	人数(人)
舞踊と邦楽の集い	11/2	180
合唱の集い	11/3	520
能楽の集い	11/4	100
歌謡の集い	11/9	406
民謡の集い	11/10	180
ダンスフェスティバル	11/17	1,707

来場者計：3,093人

【大会部門】中央公民会、総合福祉センター、ふれあいセンターいんば

部門	日程	人数(人)
俳句大会	10/27	31
短歌大会	10/27	27
囲碁大会	11/10	64
将棋大会	11/24	50
健康マージャン大会	11/30	54

来場者計：226人

【展示部門】イオンモール、文化ホール

部門	日程	人数(人)
美術工芸、書道、華道、 手工芸、絵画、写真、彫刻ほか	前期：10/30～11/4 後期：11/6～11/11	1,634
盆栽	11/1～11/3	117
陶芸	11/1～11/3	83

来場者計：1,834人

【催し部門】イオンモール、文化ホール

部門	日程	人数（人）
茶道体験	11/2、3	175
押花グッズ作り	11/4	30
大正琴演奏	11/3	100
一般公募体験コーナー	11/2、4、9、10	279
鉄道模型運転会	11/23、24	600
来場者参加者計（スタッフ118人含む）		1,184

【令和元年度来場者・参加者総計】6,337人

3. 出展者

部門	人数（人）
盆栽	16
絵画	72
押花	14
ちぎり絵	6
華道	1
工芸	13
陶芸	10
写真	12
書道	96
俳句・俳画	71
手芸	20
その他（木工、ステンドグラス等）	34
出展者計	365

議事 (1) 令和2年度生涯学習関連予算について

【歳入】

	H31年度当初	R2年度要求	増減額
使用料	9,570千円	7,119千円	△2,451千円
国庫補助金	1,000千円	1,000千円	0千円
県負担金	50千円	50千円	0千円
県補助金	1,531千円	1,225千円	△306千円
財産売払収入	250千円	250千円	0千円
雑入	1,867千円	1,787千円	△80千円
市債	658,400千円	1,231,200千円	572,800千円
合 計	672,668千円	1,242,631千円	569,963千円

【歳出】

班 名	H31年度当初	R2年度要求	増減額
推進係	14,591千円	10,802千円	△3,789千円
文化係	24,024千円	14,284千円	△9,740千円
公民館・中央駅前地域交流館	217,923千円	492,358千円	274,435千円
図書館	81,598千円	135,383千円	53,785千円
文化ホール	793,372千円	1,160,682千円	367,310千円
交流の杜歴史資料センター	13,202千円	21,215千円	8,013千円
歴史民俗資料館	5,706千円	4,904千円	△802千円
合 計	1,150,416千円	1,839,628千円	689,212千円